

令和時代の新たな木材利用技術

近年、木材の化学加工について、ケボニー化に代表される新たな改質技術が注目されています。また、木質バイオマスのマテリアル利用に向けては、セルロースナノファイバー（CNF）やリグニン等について、国際標準化や製品化等に向けた研究開発を進めることが「未来投資戦略2018」にも掲げられています。

そこで、10～12月の月例研究会では、「木材利用技術の最先端」をテーマとして取り上げることといたしました。まず、10月は、京都府立大学大学院生命環境科学研究科教授・副学長の宮藤久士氏より、近年再注目されている木材の化学加工について、その開発動向とその技術的な背景についてお話しいたします。また、11月は、東京大学大学院農学生命科学研究科教授の磯貝明氏より、CNFの製造、利用技術の現状と将来展望について、12月は、森林総合研究所新素材研究拠点長の山田竜彦氏より、CNFと同様にバイオリファイナリーの注目株である改質リグニンについて、その製造法や特性、改質リグニンを核とした産業化の取り組みについてお話しいたします。

名前はよく知っているが、自分で説明しようと思うと難しいこれら新技術について、それぞれの分野の第一人者をお招きしてわかりやすく解説していただきます。これら新技術の産業界での活用法や将来展望などについて、皆様とディスカッションしたいと考えております。

10月	第90回	Ⅰ	日時：2019年10月24日（木）17：30～19：00（受付開始17：00）
			場所：東京大学農学部 フードサイエンス棟、中島ホール
			「木材の化学加工の最新動向」 宮藤 久士 氏（京都府立大学大学院生命環境科学研究科）
11月	第91回	Ⅱ	日時：2019年11月14日（木）17：30～19：00（受付開始17：00）
			場所：東京大学農学部 フードサイエンス棟、中島ホール
			「セルロースナノファイバーの最新技術と課題」 磯貝 明 氏（東京大学大学院農学生命科学研究科）
12月	第92回	Ⅲ	日時：2019年12月12日（木）17：30～19：00（受付開始17：00）
			場所：東京大学農学部 フードサイエンス棟、中島ホール
			「改質リグニン開発の最先端」 山田 竜彦 氏（国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所）

（タイトルなどは予定ですので最新案内をご確認ください）

- 主催： 木材利用システム研究会
- 定員： 80名（定員になり次第、締め切らせて戴きます）
- 会場： 東京大学農学部 フードサイエンス棟 中島ホール
場所の詳細は下記ホームページにてご確認ください。
http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_07_14_j.html
- 参加費： 本会会員および共催団体会員は無料、非会員は3,000円
情報交換会は実費（3,000円）を戴きます。会場準備の都合上、申込期限日以降のキャンセルはご容赦戴けますよう、ご協力の程よろしくお願い致します。
- 申込期限： 10月 2019年10月17日（木）
11月 2019年11月7日（木） ※申込開始 10月中旬予定
12月 2019年12月5日（木） ※申込開始 11月中旬予定
- 申込方法： ホームページ（<http://www.woodforum.jp>）からお申し込みください。
お問い合わせはメールにてお願いいたします。

木材利用システム研究会事務局：（高橋、長坂、後藤）
〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1、7号館B棟438室
東京大学環境材料設計学研究室内
電話：03-5841-7506
FAX：03-5841-0915
Mail：info@woodforum.jp